



令和6年3月7日

担当課	文化振興課（博物館）
担当者	前田・新井
電話	423-0003
内線	

## 企画展「花鳥風月一めぐる四季と花鳥一」を開催します



しちこうず おかもとろくそん  
七香図 岡本緑邨筆

心をなごませる四季折々の自然の風景や花は、絵画の題材として親しまれてきました。また、それぞれの季節をいろどる花と鳥を組み合わせた作品も、数多くのごされています。この企画展では、主に収蔵品の中から、うつりゆく四季に注目して描かれた景観や、花卉、花鳥を題材とした作品を中心に紹介します。

開催時期が春にあたることから、特に桜を描いた作品を個別に取り上げ、会期の前期（3月16日～4月14日）には、画帖や画卷からも桜を描いた場面を選んで展示します。

- 会 期 令和6年3月16日（土）～5月12日（日）  
休館日：月曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）、祝日の翌日
- 会 場 和歌山市立博物館（南海電鉄「和歌山市」駅から徒歩5分）  
〒640-8222 和歌山市湊本町3-2  
TEL：073-423-0003 Fax：073-432-9040
- 開館時間 9時～17時（ただし、入館は16時30分まで）
- 入館料 一般・大学生 100円 高校生以下 無料  
※20人以上の団体は2割引。  
※和歌山市が発行する老人優待利用券をお持ちの方は、本人のみ無料。  
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方  
およびその介護人は無料。
- 展示資料 絵画32件38点（一部展示替えあり）
- 展示解説会 3月30日（土）、4月14日（日）、5月4日（土）  
いずれも13時半から1時間程度

# 企画展「花鳥風月—めぐる四季と花鳥—」

## 見どころ

### めぐる季節を楽しむ



あかさか おにわす がじょう さかしょうしゅん  
赤坂御庭図画帖 坂昇 春筆 館蔵

紀州徳川家の江戸中屋敷（赤坂邸）にあった庭園「西園」の四季折々の見どころや、行事を描いた作品です。全15図のうち第12図「宜春閣開花」（4/14（日）まで展示）は、園内の桜の名所を取り上げています。

この作品をはじめ、春夏秋冬の移り変わりや遊興を題材とした紀州徳川家ゆかりの作品の他、季節ごとの景観をとらえた作品を紹介します。

### 色とりどりの花と鳥のパラダイス

ふようぐんおうす こぶすましたえ とりいげんのじょう  
芙蓉群鴨図小襖下絵（部分） 鳥居源之丞 筆  
個人蔵

画像の作品は、紀州藩士の家に伝わった、紀州徳川家の江戸中屋敷（赤坂邸）大奥・化粧の間の小襖の下絵。

水辺に集う鴨の群れと、春から秋にかけての草花が鮮やかな彩色で表現されています。

四季を彩る花々と鳥の組み合わせは、絵画の題材として好まれ、沢山の作品がのこされています。蝶などの虫を加えたものを含め、バリエーション豊かな作品をご覧にいきます。



### 博物館でお花見はいかがでしょう？



おうかす さかもとこうせつ  
桜花図（部分） 阪本浩雪筆 館蔵

植物の写生を行った本草学者の阪本浩雪は、桜を描くのが得意でした。透けるような花びらの表現が美しい作品です。

今回の企画展では、様々な花を描いた作品を展示します。中でも、春を代表する花であるサクラに注目したコーナーを設けるほか、会期の前半にあたる4/14（日）までは、画卷や画帖の中からサクラが登場する場面を選んで展示します。



赤坂御庭園画帖  
坂昇春筆（館蔵）



桐に鳳凰図  
山本養和筆（個人蔵）



七香図  
岡本緑郎筆（館蔵）



墨梅図  
祇園南海筆（館蔵）

# 花鳥風月

—めぐる四季と花鳥—

令和6年 (2024) **3/16** **土** → **5/12** **日**

※一部展示替えあり  
～4/14（日）までは、  
サクラが描かれている  
場面を多めに展示！

展示解説会  
3/30（土）、4/14（日）  
5/4（土）  
いずれも13時30分より1時間程度



休館日：月曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）、祝日の翌日

開館時間：9時～17時（ただし入館は16時30分まで）

入館料：一般・大学生100円 高校生以下無料

※団体（20人以上）は2割引。

※和歌山市が発行する老人優待利用券をお持ちの方は、本人のみ無料。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方  
およびその介護人は無料。

和歌山市立博物館

〒640-8222 和歌山市湊本町3丁目2番地

TEL：073-423-0003 FAX：073-432-9040

<http://www.wakayama-city-museum.jp>